

JFA 第 42 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 福井県大会

大会要項

1. 趣旨

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2. 大会名称

JFA 第 42 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 福井県大会

3. 主催

公益財団法人日本サッカー協会
一般社団法人福井県サッカー協会
公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社

4. 主管

一般社団法人福井県サッカー協会 第 4 種委員会
坂井市サッカー協会

5. 後援

日本テレビ放送網（F B C）／報知新聞社

6. 特別協賛

YKK／花王

7. 協賛

日本マクドナルド／日清製粉グループ／日清オイリオグループ／ゼビオ

8. 開催協力

モルテン／P & P 浜松



9. 開催期間

2018年10月20日（土）～11月3日（土）

10. 日程・会場

【1、2回戦】	10月20日（土）、21日（日）	トリムパークかなづ（クレー4面）
【3、4回戦】	10月27日（土）	テクノポート福井スタジアム芝生広場（天芝2面） 三国運動公園人工芝グラウンド（人芝2面）
【準々、準決】	10月28日（日）	テクノポート福井スタジアム芝生広場（天芝2面）
【三決、決勝】	11月3日（土）	丸岡スポーツランドサッカー場（天芝1面）

11. 参加資格と条件

- (1) 「参加チーム」は、大会実施年度に日本サッカー協会（以下「本協会」）第4種に加盟登録チーム（以下「加盟チーム」）であり、かつ、福井県サッカー協会（以下「県協会」）に加盟登録したチームであること。
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動し、本年度のJFA U-12福井県サッカーリーグ（以下「リーグ」）に参加しているチームであること。
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、「本協会」発行の選手証または電子登録証の写し（写真が貼付または登録されたもの）を有し、かつ、「県協会」に個人登録した2006年4月2日以降に生まれた選手であること。
- (4) 「リーグ」に参加登録済みの選手は、2018年9月2日（日）以降のチーム移籍を認めない。また、新規で追加登録する選手は、2018年9月30日（日）までにすべての諸手続きを完了させ、試合前に大会本部へ選手証または電子登録証の写し（写真が貼付または登録されたもの）を提示し許可を得ること。
- (5) 単一「加盟チーム」において、複数エントリー（A、B・・・）を認める。ただし、1チームに6年生が5名以上いることとし、複数エントリーにおいての監督、選手及び帯同審判員の重複は認めない。
- (6) 「参加選手」は健康であり、保護者の同意を得ていること。またスポーツ安全傷害保険に加入していること。
- (7) 福井県大会優勝チームは、2018年12月26日（水）～29日（土）に鹿児島県で開催される①「JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会」及び、2018年11月17日（土）～18日（日）に福井県で開催される②「2018フジパンCUP第17回北信越U-12サッカー選手権大会」への出場を義務付ける。また、福井県大会の準優勝・第三位・第四位チームは、上記②への出場を義務付ける。
- (8) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が本協会公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）有すること。なお、「本協会」発行の指導者ライセンス証または電子ライセンス証の写し（写真が貼付または登録されたもの）を携帯すること。

12. 大会形式

- (1) 「リーグ」U-12カテゴリーの最終成績を反映し、各グループ1位チームと2位チームにシード権を与える。
- (2) 各グループ1位と2位の16チームを8ブロックに分け、3位以下の5チームまたは6チームを含む、7～9チームを1ブロックとし、計8ブロック構成のトーナメント戦方式で行う。
- (3) 同ブロック内の1位と2位は同グループ外のチーム同士とする。



13. 競技規則

本協会「8人制サッカー競技規則」による。

14. 競技会規定（以下の項目については本大会の規定を定める）

(1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、人工芝、天然芝とする。

フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m×幅（ゴールライン）50m

ペナルティーエリア：12m

ペナルティーマーク：8m

ペナルティーアークの半径：7m

ゴールエリア：4m

センターサークルの半径：7m

(2) ボール

試合球はモルテン社製「ヴァンタッジオ 5000 キッズ(F4V5000・4号球)」とする。また、三位決定戦及び決勝戦はマルチボールシステムを採用する。

(3) 競技者の数：8名

8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。ただし、6名に満たなくなった時点で没収試合とする。

※ チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

※ 没収時点で得点差が3点以上ある場合は、そのスコアを採用する。

交代要員の数：8名（三位決定戦、決勝戦までは制限しない）

交代を行うことができる数：制限なし

交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。

(4) ベンチ入りできるチーム役員の数：3名以内（エントリー表に記載された役員のみ）

※ 1名以上が本協会公認指導者ライセンス（D級コーチ以上）を有すること。

(5) 交代の手続き

① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

④ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

※ 交代で退く競技者が負傷している場合は主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(6) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名がピッチへの入場を許可される。

(7) テクニカルエリア

設置する。

※ その都度、ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

(8) 競技者の用具・ユニフォーム

- ① 本協会のユニフォーム規程（2016年4月1日施行）に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条〔ユニフォームへの表示〕 ※ 該当のみ抜粋

GKグローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示

両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅（10cmから8cmに変更）

同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

- ② Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑧に準じる。
- ③ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを携行すること。（FP・GK用共）
- ④ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- ⑤ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑥ ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- ⑦ ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
- ⑧ ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2018年10月19日（金）までに本協会に承認された場合にのみ認められる。
- ※ 本協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
- ⑨ 半袖ユニフォームの下にアンダーシャツを着用する場合、ユニフォームの袖の主たる色、または袖口の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
- ⑩ アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾口の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
- ⑪ 正・副のユニフォームの4色と区別できる色のビブス2色を準備すること。
- ※ 別大会名ロゴが記載されたものは使用できない
- ⑫ 取替え式ポイントのスパイクの着用は禁止する。

(9) メンバー表：参加申込み時に提出したエントリー表のコピーを使用する。

メンバー表に記入できる選手数の上限は20名以内が望ましい。役員数は6名以内とする。先発を○で囲み、交代要員（三位決定戦、決勝戦は、最大8名）以外の選手と役員を線で抹消しておくこと。（最大16名が、その試合で出場可能となる。）さらに必要事項を記入し、試合ごとに試合開始60分前までに、1部を大会本部に提出すること。ただし、三位決定戦と決勝戦は、試合開始60分前のマッチコーディネーションミーティングに7部提出すること。なお、ベンチ入りについてはエントリー表に記載された全選手が可能となる。

※ エントリー外の選手がベンチ入りする場合は、先発及び交代要員と区別できる服装であること。

(10) 選手証確認

選手証または電子登録証の写し（写真が貼付または登録されたもの）を準備し、試合当日は常備すること。全ての試合において、1日1回提出し、本部にて選手確認を行う。

※ 必ず、試合当日の初戦 60 分前までに選手確認を終えること。

(11) 試合時間

① 40 分（前後半各 20 分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則 7 分間

※ 三位決定戦、決勝戦は、原則 10 分間

② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

三位決定戦まで：ペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

決勝戦：10 分間（前後半各 5 分）の延長戦を行い、なおも決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバル：原則 5 分間、PK 方式に入る前のインターバル：原則 1 分間

※ ペナルティキック方式では、両チーム 3 人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合には、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックを行う。

③ 三位決定戦、決勝戦においては、アディショナルタイムの表示を行う。

④ 三位決定戦までは、試合時間内に勝敗が決しない場合、延長戦なしのペナルティキック方式により勝利チームを決定する。なお、決勝戦のみ試合時間内に勝敗が決しない場合、延長戦を行う。なお、延長戦でも勝敗が決しない場合は、ペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

⑤ 試合開始前に、提出書類不備や人数不足により試合が行えない場合は没収試合とする。

15. 審判

(1) 準決勝戦までの試合は、1 人の主審と 2 人の副審及び 1 人の第 4 審判員で行う。

(2) 三位決定戦及び決勝戦は、1 人の主審と補助審判で行う。

(3) 主審は、本協会「サッカー公認 3 級審判」以上の有資格者が行う。ただし、第 4 種委員会審判委員長及び地区審判長の推挙や承認があれば「サッカー公認 4 級審判」有資格者でも可能とする。

(4) 主審は、試合後、審判報告書を本部へ提出すること。

(5) 副審及び第 4 審は、「サッカー公認 4 級審判」以上の有資格者のみが行うことができる。

(6) 割り当てられた試合の審判員は、担当試合の 60 分前までに本部に集合し受け付けを済ませること。また、主審はユニフォームの決定を行い、打ち合わせを充分に行うこと。

（ユニフォームの決定は、本部が代行する場合もある）

(7) メンバーチェックは、試合時間が遅れないように行うこと。

(8) 審判員は正装で行うこと。

※ シャツ、パンツ、ストッキング、資格級証・フェアプレーワッペン・リスペクトワッペン

※ タイツの着用は認めない。

(9) 審判員は、審判証・手帳を必ず持参すること。

16. 規律と懲罰

- (1) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 大会規律委員会の委員長は第4種委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (5) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (6) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。
- (7) 全国大会では懲罰規定上の同一競技会とみなし、本大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は全国大会において順次消化される。

17. 抽選会

期日：2018年10月6日（土）19時00分～

※ 受付開始 18時30分～

場所：FBC本社 6F大ホール

※ 選手の参加は認めない。

抽選方法：受付順にて予備抽選を行い、その順序にて本抽選を行う。

※ シード権があるチームにおいても予備抽選は行うものとする。

18. 開会式・閉会式

期日：2018年11月3日（土）13時20分～

場所：丸岡スポーツランドサッカー場

※ 開会式は行わない。

※ 閉会式には Best16 に残ったチームと選手が参加すること。

（ただし、学校行事等で欠席する場合は、文書にて事前に大会事務局まで連絡し、了解を得ること）

19. 参加料

4,000円／1チーム ※ 参加料は、「県協会」参加料口座に振り込むこと。

振込先：【加入者名】福井県サッカー協会 参加料

【口座番号】00720-9-74968（郵便口座）

- ・ 郵便局備付の青色印字の振込票
- ・ 他金融機関からの払込用口座番号：店番079 当座0074968
- ・ 通信欄：①全日本少年サッカー選手権大会 ②参加チーム名 ③振込者名 ④連絡先

※ 上記の必要事項を記入すること。（複数エントリーチームの同時振込み可）

※ 締切日：9月30日（日）当日消印有効

21. 大会参加申込み

本大会エントリーのチーム構成は、引率指導者（当該チームを掌握指導できる責任者）と選手とする。

エントリー選手の数には制限しないが「全国決勝大会」に於いては、1チームあたり最大26名（役員6名以内、選手20名以内）を上限としているため、これに準ずることが望ましい。また、怪我などによる人数不足で没収試合にならないように注意すること。なお、本大会参加登録は全国大会終了まで有効となる。以下、次の事項をもって参加申込みとする。

(1) エントリー表1部

(2) チーム紹介+集合写真1枚（容量は5MB以下にすること）

※ 大会参加申込書、エントリー表及びチーム紹介は、県協会第4種委員会HP掲載の書式を用い必要事項を記入し、第4種委員会事務局にEメールに添付し申込みこと。また、1、2回戦開催日の中で学校行事があり参加できない日がある場合は、理由がわかる書面を添え提出すること。今大会に於いては、1、2回戦参加日のみ変更を考慮する。3回戦以降の日程は会場確保の都合上、考慮しないものとする。

※ 締切日：9月30日（日）必着とする。

送付先：（一社）福井県サッカー協会第4種委員会

事務局 吉岡 親示

Eメール：shinji-y@mtf.biglobe.ne.jp

22. 表彰

優勝：賞状、トロフィー、メダル（最大16名）、協賛社副賞

準優勝：賞状、トロフィー、メダル（最大16名）、協賛社副賞

第三位：賞状、トロフィー、メダル（最大16名）

第四位：賞状、トロフィー

特別協賛社賞：努力賞（1チーム）

グットマナー賞（1チーム）

後援社賞：FBC賞（2チーム）

23. その他

(1) 本大会決勝戦、決勝大会決勝戦は、それぞれFBCで録画放送される。

(2) 原則、会場準備等は、当日の参加全チームで行うこととし、会場設営、大会本部と選手ベンチを準備する。
また、テント等は天候を鑑み、会場責任者が決定する。

(3) 決定された組合せ、日程や会場は、学校行事で一部を修正又は変更されることもある。

24. 大会事務局

春江町 SSS 可藤 孝志（かとう たかし）

携帯：090-2379-9019

Eメール：haruechosss@gmail.com



2018/10/06

25. 関係各所、報道関係への試合結果報告先

大会当日事務局は、関係各所・報道関係へ当日中に報告すること。

- 読売新聞大阪本社 福井支局 Eメール : fukui@yomiuri.com
- スーパースポーツゼビオ フェアモール福井大和田店 Eメール : ssx-Fukui1@xebio.co.jp
- 福井新聞社 Eメール : undou@fukuishimbun.co.jp
- F B C Eメール : ktakezawa@fbc.jp
- 日刊県民福井 Eメール : henshu@kenmin-fukui.co.jp
- 福井県サッカー協会 Eメール : info@fukui-fa.com
- 第4種委員会事務局 Eメール : shinji-y@mtf.biglobe.ne.jp

26. 問い合わせ

第4種委員会委員長 甲斐 秀治
携帯 : 090-2122-7612
Eメール : 1325kai@gmail.com